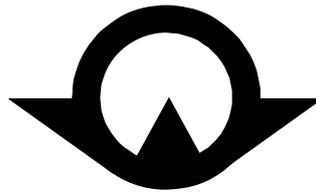


平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

一般交通量調査結果表



山口県土木建築部

目 次

1. 調査概要	1	—	1
1) 調査の目的	1	—	2
2) 調査の体系	1	—	2
3) 調査対象路線	1	—	2
4) 調査実施機関	1	—	3
5) 調査単位区間の設定	1	—	3
6) 調査内容	1	—	4
7) 調査結果表の見方	1	—	6
8) その他	1	—	8
2. 調査結果表	2	—	1
1) 路線別調査結果一覧表	2	—	3
2) 歩行者類等調査結果一覧表（平日）	2	—	59
3) 歩行者類等調査結果一覧表（休日）	2	—	73
3. 交通量図	3	—	1
1) 交通量図【索引図】	3	—	3
2) 交通量図【地区別】	3	—	7
4. 旅行速度図	4	—	1
1) 旅行速度図【索引図】	4	—	3
2) 旅行速度図【地区別】	4	—	7

巻末資料 — 1 : 交通容量の設定方法

巻末資料 — 2 : 交通量の推定方法

巻末資料 — 3 : 昼夜率の設定方法

巻末添付図 : 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

交通量図【山口県版】

平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

旅行速度図【山口県版】

1. 調 查 概 要

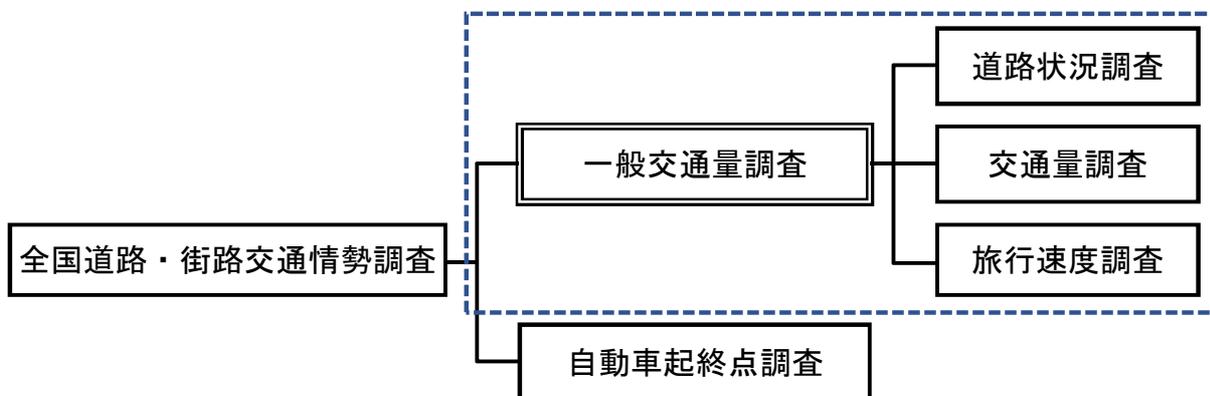
本資料は、『平成27年度全国道路・街路交通情勢調査』の一環である『一般交通量調査』に関する資料です。

1) 調査の目的

一般交通量調査は、全国道路・街路交通情勢調査の一環として、全国の道路の交通量及び道路現況等を調査し、道路の計画、建設、維持修繕その他の管理などについての基礎資料を得ることを目的として実施する調査である。

2) 調査の体系

全国道路・街路交通情勢調査は、一般交通量調査と自動車起終点調査で構成され、一般交通量調査は、道路状況調査、交通量調査、旅行速度調査の3項目で構成される。



道路状況調査：全国の幹線道路の構造と交通管理の現況を把握するため横断面構成や沿道状況等を調査するものである。

交通量調査：自動車起終点調査（OD調査）に合わせて把握すべき全国の幹線道路の交通量を調査するものである。

旅行速度調査：圏域間移動の代表経路や混雑が発生している地域の幹線道路の旅行速度を調査するものである。

3) 調査対象路線

本調査は、山口県においては、一般県道以上の全路線（高速自動車国道、一般国道、主要地方道、一般県道）を対象としている。

4) 調査実施機関

調査名	調査実施機関
道路状況調査	各道路管理者が実施した。
交通量調査	OD調査結果の照査のために行う交通量調査は、県が管理する道路においても、国が実施した。その他（上記以外の地点でOD調査と同時期に交通量の実態を把握することが望ましい地点）については、各道路管理者が実施した。
旅行速度調査	E T C 2. 0プローブ情報、一般車プローブデータを利用できる区間については国が実施し、それ以外の調査対象区間については、各道路管理者が実施した。

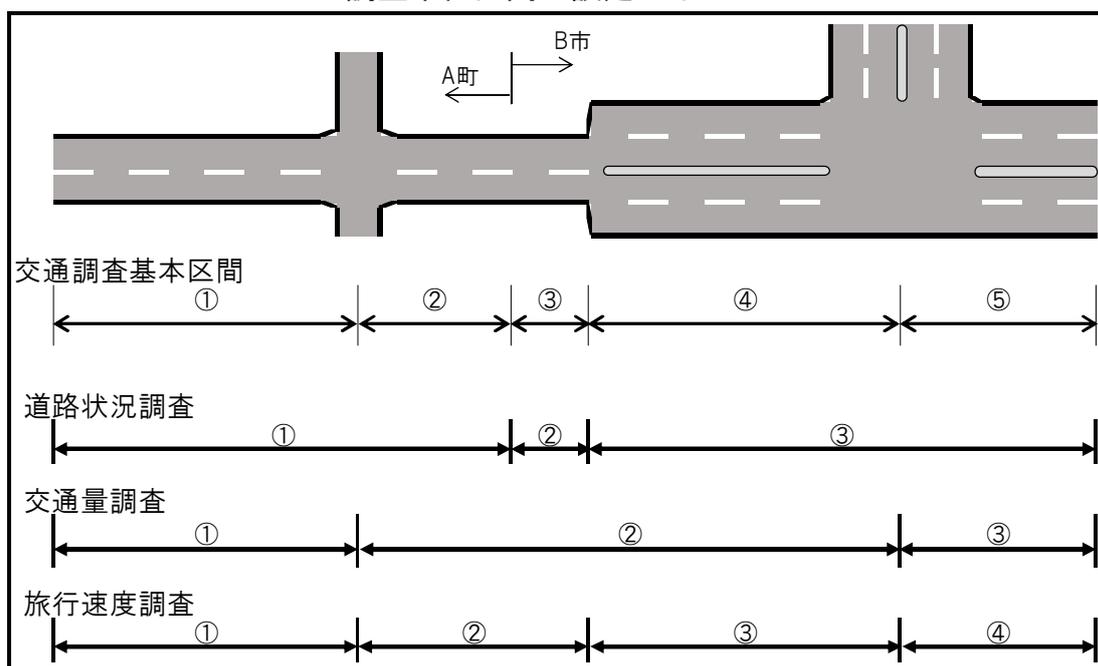
5) 調査単位区間の設定

一般交通量調査の作業の最小単位として、調査対象路線を以下のいずれかに該当する箇所を分割した区間を「交通調査基本区間」という。

- ① 他の枝路線と接続する箇所（幹線道路同士の交差点、IC等）
- ② 大規模施設のアクセス点
- ③ 道路管理者が異なる箇所
- ④ 自動車専用道路に指定されている区間の起点及び終点
- ⑤ 市区町村界と交差する箇所

道路状況調査、交通量調査、旅行速度調査の各調査は、それぞれの調査を実施するのに適切な区間となるよう、交通調査基本区間を複数集約して設定している。

調査単位区間の設定のイメージ



6) 調査内容

道路状況調査

一般県道以上の全路線を対象に、車線数、代表沿道状況、中央分離帯、軌道の有無、アクセスコントロールなど、平成27年4月1日現在の道路状況及び交通管理について調査を行った。

調査は、道路台帳等の既存資料の情報を利用し、必要に応じて現地調査を実施して、所定の調査項目を整理した。

交通量調査

交通量の調査対象として選定した区間（調査対象区間）において、区間を代表する地点を設定して、この地点を通過する秋季（9月～11月）の平日の方向別2車種別（大型車・小型車別）12時間交通量または24時間交通量の調査を行った。なお、必要に応じて、休日交通量や4車種区分交通量（乗用車、小型貨物車、バス、普通貨物車）、歩行者類・自転車類・動力付き二輪車類交通量の調査を行っている。

調査は、人手観測の他、道路管理者や警察が常設しているトラフィックカウンターや簡易型トラフィックカウンターによる機械観測も行われている。

【観測日・観測時間帯】

交通量調査の観測日は、9月～11月の平日中で任意に選定してよいが、月曜日、金曜日、土曜日、日曜日、祝祭日及びその前後の日、台風等の異常気象の場合、その他の通常と異なる交通状態が予想される日避けるようにすることとされている。

また、休日調査を行う場合は、9月～11月の休日（日曜日）のうち、台風等の異常気象の場合、その他通常と異なる交通状態が予想される日避けるようにすることとされている。

観測時間は、昼間12時間観測（午前7時～午後7時）を基本とするが、昼夜率算定の必要性などを考慮し24時間観測する地点を検討することとされている。また、機械観測を行う箇所については、可能な限り24時間観測することとされている。

今回の調査では、上記の方針を踏まえ、調査実施機関ごとに以下のとおり実施した。

調査機関	観測日	観測時間
NEXCO西日本	平日のみ 任意に設定	24時間観測 任意に設定
国土交通省	平日のみ 任意に設定	12時間観測/24時間観測
山口県	平日 平成27年11月5日(木)	12時間観測/24時間観測
	休日 平成27年10月25日(日)	12時間観測/24時間観測
	平成27年11月8日(日) 平成27年11月15日(日)	

12時間観測：午前7時～午後7時

24時間観測：平日 午前7時～翌日午前7時
休日 午前0時～翌日午前0時

【個別調査結果の活用】

今回の調査から、平成22年度道路交通センサス以降に個別の調査で交通量を観測している場合は、その結果を活用してもよいものとされており、個別調査結果を活用した平成27年交通量推定方法は巻末資料に記載している。なお、山口県内では38箇所に応用した。

<総括表>

NEXCO西日本管理道路

調査実施機関	道路種別	平日		休日	
		12h	24h	12h	24h
NEXCO西日本	高速自動車国道	0 (0)	26 (0)	0 (0)	0 (0)

国土交通省管理道路

調査実施機関	道路種別	平日		休日	
		12h	24h	12h	24h
国土交通省	一般国道(指定区間)	0 (1)	113 (26)	0 (0)	0 (0)

※国道2号の関門トンネルは、NEXCO西日本が調査を実施。

山口県管理道路

調査実施機関	道路種別	平日		休日	
		12h	24h	12h	24h
国土交通省	一般国道(指定区間外)	3 (0)	18 (0)	0 (0)	0 (0)
	主要地方道	4 (0)	23 (0)	0 (0)	0 (0)
	一般県道	3 (0)	22 (0)	0 (0)	0 (0)
	小計	10 (0)	63 (0)	0 (0)	0 (0)
山口県	一般国道(指定区間外)	76 (1)	12 (1)	9 (0)	7 (0)
	主要地方道	155 (2)	22 (2)	26 (0)	8 (0)
	一般県道	153 (4)	8 (1)	22 (0)	3 (0)
	小計	384 (7)	42 (4)	57 (0)	18 (0)

一般国道(指定区間外)	79 (1)	30 (1)	9 (0)	7 (0)
主要地方道	159 (2)	45 (2)	26 (0)	8 (0)
一般県道	156 (4)	30 (1)	22 (0)	3 (0)
合計	394 (7)	105 (4)	57 (0)	18 (0)

※()書きは個別調査結果の活用箇所

旅行速度調査

旅行速度の調査対象として選定した区間（調査対象区間）において、秋季（9月～11月）の平日の方向別旅行速度（混雑時及び昼間非混雑時）の調査を行った。

調査は、ETC2.0プローブ情報及び一般車プローブデータの活用を基本とし、時間・空間的に広く取得されているETC2.0プローブ情報、一般車プローブデータの特性を活かし、混雑時（7～9時、17～19時）、昼間非混雑時（9～17時）について調査するとともに、方向（上り・下り）別のサービス水準の違いを把握する観点から、上り・下り別に調査している。ただし、データが取得できない区間等においては、車群の流れに沿った走行による計測も行っている。

<ETC2.0>

ETC2.0対応車載器を搭載した一般車両が道路を通行した時のプローブデータを用いて得た旅行時間のデータで、国が自らデータを取得している。

<一般車プローブデータ>

一般車両が道路を通行した時のプローブデータを用いて得た旅行時間のデータで、民間事業者等から国がデータを取得している。

7) 調査結果表の見方

本冊子は、以下の3つの表から構成されている。

【1）路線別調査結果一覧表】

国土交通省が集計した箇所別基本表を基に、山口県内の一般交通量調査結果をとりまとめた。

【2）歩行者類等調査結果一覧表（平日）】

道路管理者である山口県が、調査対象区間において観測した4車種区分交通量（乗用車、小型貨物車、バス、普通貨物車）、歩行者類・自転車類・動力付き二輪車交通量の平日観測結果（推計値を除く）をとりまとめた。

【3）歩行者類等調査結果一覧表（休日）】

道路管理者である山口県が、調査対象区間において観測した4車種区分交通量（乗用車、小型貨物車、バス、普通貨物車）、歩行者類・自転車類・動力付き二輪車交通量の休日観測結果（推計値を除く）をとりまとめた。

各表の詳細について、以降に記す。

【 1 ） 路線別調査結果一覧表 】

高 = 高速自動車国道
 国 = 一般国道
 主 = 主要地方道
 一 = 一般県道

平 12h = 平日 12時間観測実施
 平 24h = 平日 24時間観測実施
 非 = 非観測区間
 不 = 交通不能区間

大型車類 / 自動車類合計 (%)
 この例の場合
 $111 / 4,667 \times 100 = 2.4 \%$

0 = 個別調査観測値活用なし
 1 = 個別調査観測値活用あり

道路種別	路線番号	路線名	交通調査基本区間番号	区間延長 (0.1km)	交通調査単位区間番号	個別調査観測値活用 (0:なし 1:あり)	観測区分	平日自動車類交通量 (台)			大型車混入率	調査区間
								小型車類	大型車類	計 [A]		
主	1	岩国大竹線	35400010010	2								
主	1	岩国大竹線 岩国市御庄	35400010020	10	040010	0	平	4,556	111	4,667	2.4	400
主	1	岩国大竹線 岩国市御庄	35400010030	22	040020	0	12h	(5,514)	(320)	(5,834)		
主	1	岩国大竹線 岩国市御庄	35400010040	2			平	7,903	21	7,924	0.3	4
主	1	岩国大竹線	35400010050	5			12h	(9,659)	(404)	(10,063)		
主	1	岩国大竹線	35400010060	23								
主	1	岩国大竹線										

◆の区間は『 2.2 』にデータあり
 ◇の区間は『 2.3 』にデータあり

上段 = 12h
 下段 = 24h
 () 書きは推計

観測地点が存在する交通調査基本区間番号と同じ行に自動車類交通量を記載

ひとつの交通調査単位区間番号の中に複数の交通調査基本区間番号が存在する場合、空欄の交通調査基本区間番号の自動車類交通量は他の欄に記載されている数値と同一である。

平成27年度観測を実施、または個別調査活用をした交通調査単位区間番号のみ、観測地点地名を記載

前回 (平成22年度) 調査結果に対する
 今回 (平成27年度) 調査の比率

伸び率 = 今回 [A] / 前回 [B]

この例の場合
 $4,667 / 5,036 = 0.93$

昼間12時間自動車類交通量に対する
 24時間自動車類交通量 (日交通量) の比率

昼夜率 = 24時間交通量 / 昼間12時間交通量

この例の場合
 $5,834 / 4,667 = 1.25$

区間番号	大型車混入率	平成22年度調査		伸び率 [A/B]	昼夜率	混雑度	旅行速度調査単位区間番号	平日旅行速度 (km/h)	
		調査単位区間番号	自動車類交通量 [B]					混雑時	非混雑時
040010	2.4	40010	5,036 (6,295)	0.93	1.25	0.49	V40010	15.7	23.4
040020	0.3	40020	8,199 (10,249)	0.97	1.27	0.58	V40012	35.3	39.9
								26.4	33.8
						0.93	V40014	40.0	51.1
						0.93	V40016	48.4	52.9
						0.93	V40018	32.8	44.8
						0.93	V40020	29.7	36.3
						0.93	V40018	32.3	35.4
						0.93	V40018	35.5	42.5
						0.93	V40020	45.4	50.2

交通容量に対する交通量の比率

混雑度 = 交通量 / 交通容量

※ 混雑度 1.00 以上とは、理論上、設計時に想定された以上に道路が利用されていることを表す。

混雑時 = 7:00 ~ 9:00
 または 17:00 ~ 19:00
 非混雑時 = 9:00 ~ 17:00
 上段 = 上り、下段 = 下り

【 2）歩行者類等調査結果一覧表（平日）】及び【 3）歩行者類等調査結果一覧表（休日）】

上段 = 12h
下段 = 24h
空欄は実測データなし

道路種別	路線番号	路線名	交通調査基本 区間番号	交通調査 調査単位 区間番号	観測 区分	交通量（上段=12h、下段=24h、空欄は実測データなし）											大型 車 混 入 率
						歩行者類	自転車類		動力付き 二輪車類	自動車類					自動車類 合計		
							(歩道)	(車道)		乗用車	小型 貨物車	小型車計	バス	普通 貨物車		大型車計	
国	187	一般国道187号 岩国市天尾	35301870010	010750	平	3	1	3	21	1,925	787	2,712	33	436	469	3,181	14.7
				◇	24h	4	2	3	27	2,357	886	3,243	36	497	533	3,776	14.1
国	187	一般国道187号 岩国市美川町南桑	35301870030	010760	平	5	1	11	17	1,626	367	1,993	43	362	405	2,398	16.9
				◇	12h												
国	187	一般国道187号 岩国市錦町府谷	35301870080	010780	平	17	0	4	27	1,635	690	2,325	59	310	369	2,694	13.7
				◇	24h	26	0	4	29	1,915	753	2,668	66	397	463	3,131	14.8
国	189	一般国道189号	35301890010	011070	平	212	0	318	136	2,770	695	3,465	24	47	71	3,536	2

※他の項目は『 1) 』に準ずる。

歩行者類、自転車類は進行方向によらず、起点から終点に向かって道路の左側を通行した場合を下りに、右側を通行した場合を上りとする。

8) その他

交通量調査結果について、平成27年秋期（9～11月）時点において、萩地域の一部県道（一般県道津和野須佐線の一部と一般県道福田下惣郷線、田万川須佐線、宇田須佐線の全線）において災害による通行止め区間があった。

このため、当該路線及びその周辺の路線において、通行止めの影響が出ている結果となっているので、本冊子のデータを用いて道路の改築や、舗装設計の根拠とする場合には、留意が必要である。

路線名は、平成27年4月1日現在の道路現況を基にしている。

問合せ先

山口県土木建築部道路建設課道路企画班

TEL : 083-933-3714

FAX : 083-933-3719